

市議会だより

平成20年
NO. 62

ぶぜん 



豊前市岩屋活性化センター付近にて

主な内容

- ◆ 9月定例会議案審議結果 …… 2P
- ◆ 主な議案の概要 …… 3P
- ◆ 決算状況 …… 4P～
- ◆ 一般質問 …… 6P～

次の定例会議は12月

● 議会へのご意見をお寄せ下さい ●
豊前市大字吉木955 TEL.82-1111内線1311
<http://www.city.buzen.fukuoka.jp>

● 発行：豊前市議会 ● 編集：編集委員会 ● 印刷：上森印刷所

9月 定例会議案審議結果

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果	
議案第54号	豊前市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	—	全会一致	可決
議案第55号	豊前市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	—	全会一致	可決
議案第56号	豊前市議会図書室条例の一部を改正する条例の制定について	—	全会一致	可決
議案第57号	豊前市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	—	全会一致	可決
議案第58号	豊前市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	—	全会一致	可決
議案第59号	豊前市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例の制定について	—	全会一致	可決
議案第60号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	全会一致	可決
議案第61号	豊前市農業集落排水施設整備基金条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	全会一致	可決
議案第62号	豊前市空き地等管理の適正化に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	全会一致	可決
議案第63号	豊前市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	全会一致	可決
議案第64号	字の区域の変更について	総 務	全会一致	可決
議案第65号	平成20年度豊前市一般会計補正予算（第1号）	全委員会	全会一致	可決
議案第66号	平成20年度豊前市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	産業建設	全会一致	可決
議案第67号	平成19年度豊前市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	全会一致	認定
議案第68号	平成19年度豊前市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	文教厚生	全会一致	認定
議案第69号	平成19年度豊前市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	文教厚生	全会一致	認定
議案第70号	平成19年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	総 務	全会一致	認定
議案第71号	平成19年度豊前市農業集落排水施設事業特別会計歳入歳出決算の認定について	産業建設	全会一致	認定
議案第72号	平成19年度豊前市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	産業建設	全会一致	認定
議案第73号	平成19年度豊前市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	総 務	全会一致	認定
議案第74号	平成19年度豊前市営駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	総 務	全会一致	認定
議案第75号	平成19年度豊前市バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	総 務	全会一致	認定
議案第76号	平成19年度豊前市水道事業会計歳入歳出決算の認定について	産業建設	全会一致	認定
議案第77号	平成19年度豊前市東部地区工業用水道事業会計歳入歳出決算の認定について	産業建設	全会一致	認定
議案第78号	工事請負契約の締結について	総 務	全会一致	可決
意見書案第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書（案）の提出について	総 務	全会一致	可決
請願第3号	教育予算の確保と充実を求める意見書の提出に関する請願	文教厚生	一部採択	
同意案第2号	豊前市教育委員会委員の任命について	—	全会一致	同意
同意案第3号	豊前市公平委員会委員の選任について	—	全会一致	同意
同意案第4号	豊前市監査委員の選任について	—	全会一致	同意
同意案第5号	豊前市固定資産評価審査委員会委員の選任について	—	全会一致	同意
選挙第11号	豊前市選挙管理委員会委員の選挙について	—	指名推選	
選挙第12号	豊前市選挙管理委員会委員の補充員の選挙について	—	指名推選	

議案の概要

平成20年第4回定例会は、9月1日から9月19日までの19日間の会期で開催されました。

本定例会には、条例9件、会議規則1件、補正予算2件、決算11件、その他の案件2件、同意案件4件、意見書1件の合わせて30議案が提出されました。提出された議案の多くが所管の常任委員会や慎重に審査され、すべての議案が原案どおり可決されました。継続審査となっていた請願は、一部採択となりました。また、選挙が2件行われました。

条例関係

■豊前市議会委員会条例の一部改正について
国民健康保険税に関する事項の所管を総務委員会から文教厚生委員会に移すための改正です。

■豊前市議会会議規則の一部改正について

地方自治法の改正に伴い、全員協議会を同法に基づく議会活動と位置づけるための改正です。

■豊前市議会図書室条例の一部改正について

■豊前市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について
地方自治法の改正に伴う引用条文の整備です。

■豊前市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

■豊前市特別職報酬等審議会条例の一部改正について
地方自治法の改正に伴い、他の委員の報酬と明確に分離するため、議員の報酬を議員の議員報酬と名称変更するための改正です。

■特別職の職員で非常勤のものへの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
市立養護老人ホーム向陽荘の民営化に伴い、嘱託医の項目を削除するための改正です。

■豊前市農業集落排水施設整備基金条例の一部改正について

地方公営企業法の全部を適用したことに伴う改正です。

■豊前市空き地等管理の適正化に関する条例の一部改正について
所有者等の調査を円滑にするため、関係規定の整備を行うものです。

■豊前市公営企業の設置等に関する条例の一部改正について
生活用水の供給予測の再評価に伴い、給水人口と一日最大給水量を見直すための改正です。

■平成20年度豊前市一般会計補正予算(第1号)
補正額は、115,495千円で、主なものは次のとおりです。

予算関係



その他の案件

■字の区域の変更
合河北部地区の土地改良事業の実施に伴い、字区域の変更をするものです。

■工事請負契約の締結について
上町南団地建替2期工事
契約額 6億816万円
(消費税含む)
契約相手 若築建設(株)
北九州営業所

同意案件

(敬称略)

■教育委員会委員

豊前市大字清水町

尾家 角夫

豊前市大字大村

森重 高岑

豊前市大字大西

小袋 雅文

■公平委員会委員

豊前市大字今市

佐藤 勝也

■監査委員

苅田町大字新津

矢鳴 学

■固定資産評価審査委員会委員

豊前市大字堀立

濱生 晋

意見書

■地方財政の充実・強化を求める意見書(案)の提出について
公共サービスの充実、地方分権の推進、税源移譲等により、地方財政の充実を求めるための意見書です。

請願

■教育予算の確保と充実を求める意見書の提出に関する請願

前回からの継続案件でしたが、一部を除いて採択されました。

選挙

(敬称略)

■選挙管理委員会委員

本会議において、指名推選により4名の方が当選しました。

豊前市大字塔田

原田 昭

豊前市大字才尾

江藤 克己

豊前市大字四郎丸

上森 幾久生

豊前市大字小石原

桑名 雅弘

■選挙管理委員会委員の補充員

本会議において、指名推選により4名の方が当選しました。

豊前市大字馬場

矢鳴 和樹

豊前市大字八屋

笈木 今朝生

豊前市大字下河内

笈木 みな子

豊前市大字赤熊

小石 勝弘

平成19年度 会計別決算状況

(単位:千円)

会 計 名		歳 入 (A)	歳 出 (B)	形式収支 (C=A-B)	翌年度へ繰り越すべき財源(D)	実質収支 (C-D)
一 般 会 計		11,256,627	11,120,257	136,370	33,351	103,019
特 別 会 計	国民健康保険事業	4,039,566	3,674,108	365,458	0	365,458
	老人保健	4,131,332	4,210,366	△ 79,034	0	△ 79,034
	住宅新築資金等貸付事業	10,701	44,805	△ 34,104	0	△ 34,104
	農業集落排水施設事業	37,243	30,177	7,066	0	7,066
	公共下水道事業	582,866	521,657	61,209	0	61,209
	公共用地先行取得事業	0	0	0	0	0
	豊前市営駐車場事業	11,586	7,543	4,043	0	4,043
	豊前市バス事業	32,820	32,820	0	0	0
合 計		20,102,741	19,641,733	461,008	33,351	427,657

平成19年度 豊前市東部地区工業用水道事業会計決算

収益的収入及び支出

(単位:万円)

収益的収入	1,808
収益的支出	1,475
差引額(消費税込)	333
当年度純利益	333

資本収入及び支出

資本的収入	0
資本的支出	0
差 引	0

平成19年度 豊前市水道事業会計決算

収益的収入及び支出

(単位:万円)

収益的収入	5億6,405
収益的支出	5億1,551
差引額(消費税込)	4,854
当年度純利益	4,460

資本収入及び支出

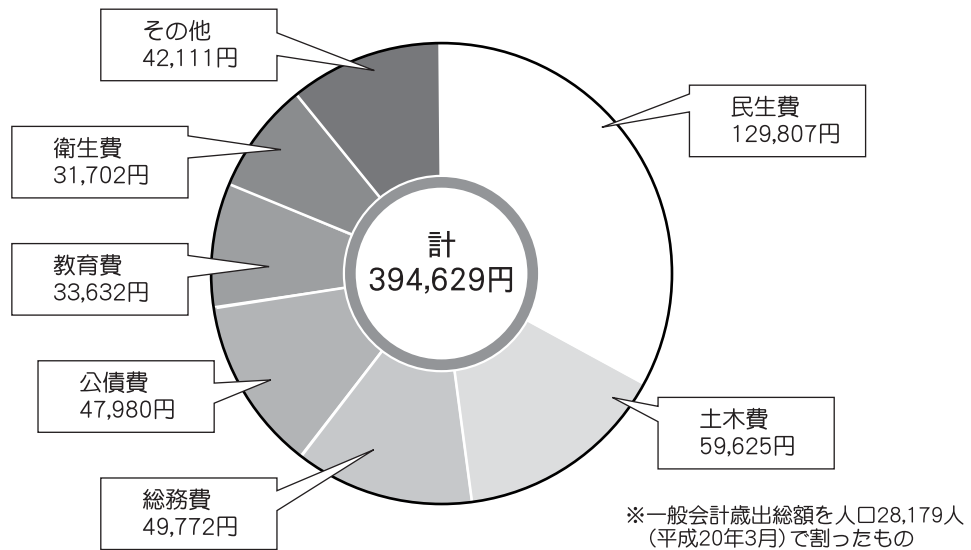
収益的収入の中には一般会計からの補助金が7,570万円含まれています。

資本的収入	1億7,478
資本的支出	2億7,692
差 引	△ 1億214

単年度収支は黒字であるが、平成19年度未処理欠損金(赤字)は3億3,755万円となる。

平成19年度 一般会計決算状況

市民1人当たりの金額に換算すると 394,629円 [使い道(目的別)に内訳]



平成19年度の主な事業

教育の振興・充実



横武小学校講堂建替事業

住環境の整備



上町団地建替事業

農業の振興



圃場整備

道路・街路の整備



上町・杓川池線街路事業

平成20年第4回豊前市議会定例会 一般質問発言者一覧表

期日	質問者	質問の要旨
9月8日(月)	山崎 廣美	1. 安全、安心な街づくり豊前市における防災対策について 2. 少子化対策、子育て支援について 3. 農業の振興について
	爪丸 裕和	1. 少子・高齢化問題について 2. 行財政改革について
	尾澤 満治	1. 医療体制について 2. 豊前市ふるさとづくり寄附条例について 3. 豊前市バスについて
	今本文徳	1. 小学校のプール設置について 2. 全小学校の本年度の水泳指導の実態について 3. 小学校の運動会の開催時期について 4. 「全国一斉学力テスト」及び学力向上の方策について 5. 合岩小学校統合10年間の総括・まとめについて
9月9日(火)	榎本 義憲	1. 税源移譲に伴う収税対策について 2. 市民が安心して暮らせるまちづくりについて 3. 求菩提山文化財と関連文化財の有効利用及び人材育成について 4. 固定資産税率の引下げについて（前回の質問事項）
	尾家 啓介	1. 豊前市財政について 2. 限界集落と高齢者対策について 3. 一般競争入札の目的について
	岡本 清靖	1. 過疎化対策としてのサービス向上について 2. 市営バスと高齢者の関係について 3. 鳥獣対策について 4. 市営住宅のあり方について
	鎌田 晃二	1. 「学校のアレルギー疾患に対する取組みガイドライン」について 2. 子育て支援について 3. 市バスについて 4. 緊急通報システムについて

山崎議員の質問

1 安全・安心な街づくり、豊前市における防災対策について

議員 近年、異常気象の影響が、各地に大きな災害が発生している。そのような緊急事態の対処方法の一つとして、防災無線の設置を検討すべきではないのか。

市長 当然、市の責任で整備しなければならないが、8億円前後の費用がかかること、市町村合併があった場合、システムの統合運用が可能か不明、又、既存のサイレン等との互換性がないこと等により、設置に至っていない。

大規模災害時には、生命、財産に係わることであり、一日も早い設置に努めたい。

議員 地域に密着した防災活動を担っている「消防団」の現状と強化対策について伺いたい。

総務課長 全国的には団員の減少が続いているが、本市では定員470名、ほぼ満ちし、京築地区でもトップクラスの団員数と設備の充実が図られている。

しかしながら、7割がサラリーマンの方々であり、昼間における活動力の低下が心配されており、団員OBの方や

女性の方など、特定の活動のみ参加できる機能別団員制度の導入も考えたい。

今後、関係機関と連携し自主防災組織の育成等を図りたい。

2 少子化対策、子育て支援について

議員 このことの一環として、妊婦健診の「公費負担を5回までする」との答弁を6月議会でいただいたが、実施状況はどのようになっているのか伺いたい。

市民健康課長 広報紙に掲載するが、来年1月から年5回にする。

議員 福岡県を含む九州地区は公費負担回数が少ない。

初期から出産まで14回が望ましいとされている。

他市町村に先駆けて回数を増やし、「子育て世代に優しい豊前市」にしてほしい。



3 農業振興について

議員 農作物に有害なシカ、イノシシの捕獲は狩猟期間内で約670頭にのぼる。

この肉を適正に処理し、特産品化できないものか。

農林水産課長 そのような事例も全国的には見られる。

福岡県においては、豊前市も参加した「イノシシ肉等研究会」を発足し、有効利用、販路の拡大等に取り組んでいる。

議員 中山間地における、ほ場整備後の固定資産税の課税について伺いたい。

耕作面積の割合が低いにもかかわらず、法面積にも農地として課税されている。見直しはできないのか。

税務課長 傾斜地の法面も個人の農地として課税されるケースがある。農地の地形的条件、水利、日照、生産性などを勘案し、評価額を決定しており、そのような場合も評価に反映されている。

議員 力強い子どもの成長を支える教育活動としての「子ども農山漁村交流プロジェクト」について、豊前市の取組みはどのようなしているのか。

農林水産課長 受入れ側としては、宿泊受入れ体制、地域の協力体制などの整備が必要であり、関係機関と十分協議したい。

議員 農山漁村の活性化、食育活動の推進のためにも早急に取り組んでもらいたい。

最後に、耕作放棄地の面積、今後のその対策について伺

たい。

農委局長 年々増加しており、19年度調査で415筆、32haを確認した。今後も農地パトロールを実施するとともに、地主への管理のお願い、担い手農家への貸借の勧めなどを行い、放棄地の発生防止、解消に努めたい。

爪丸議員の質問

1 少子・高齢化問題について

議員 豊前市では、少子化対策として出産祝金を、第2子に対しては10万円、第3子以降に対しては20万円支給しているが、近隣市町村の状況はどうか。

福祉課長 吉富町が今年の9月までにこの事業を廃止し、他の1市2町は当初よりこの事業を実施していない。

議員 今こそ豊前市が、合併に向けての取組みとして、この出産祝金の増額を検討してはどうか。

市長 前市長の時代に、子育て支援の一環として導入した。この間には、もうやめた方がいいのではないか、見直しをした方がいいのではないかとという指摘もあったが、市独自のやり方としていささかも変わらない。今

までどおりやっていく。

議員 夏休みの学童保育について説明をいただきたい。

福祉課長 これは市社会福祉協議会が行った事業で、期間は7月22日から8月29日のうち、土日及び盆を除く26日間だ。対象者は母子、父子、共稼ぎの家庭の、小学校1年から4年生までの児童で、参加費は7000円、参加児童は26人だった。2日間で定員に達したということだ。

議員 6年生までの受入れをしてほしいという要望を保護者からよく聞くが、その対応は可能か、また、北校の跡地を利用するということを検討してみてもどうか。

市長 ニーズがかなり高いことはよく承知している。北校に限定してではなく、場所の問題、やり方の問題など色々検討してみたいと思う。

議員 豊前市は高齢化率が28%を超えるという状況になっている。健康な高齢者のまちづくりをしつかり進めていかなければならないと思うが、具体的な取組みについてお尋ねしたい。

福祉課長 豊前市の65歳以上の人口が約7800人で、このうち7割が老人クラブに入っている。市内に単位クラブが86団体あり、文化活動やス

ポーツ活動など、様々な社会活動を行っている。

2 行財政改革について

議員 現在、京築地区水道企業団から1日3800トンの水を購入している。さらに、伊良原ダムから2670トン購入するとすると、豊前市の水道事業会計は深刻な問題となるのではないか。

市長 京築地区水道企業団は、19年度4000万円の黒字になっている。同企業団から現在1トン当たり188円で購入しているが、10円下げるよう努力していると思う。また、伊良原ダムの水の配分は見直しを考えている。

議員 平成14年に市バスを開始した。しかし、乗客数は減少の傾向にあり、一方石油の価格高騰によりコストが大きく上がっている。現在の経営状況等について聞かせていただきたい。

総務課長 平成18年度は1400万円、19年度は1670万円の赤字となっている。乗客数はやや持ち直して、今年度は11万人を超える見込みだ。

議員 市営駐車場は、宇島駅前と三毛門駅前であり、宇島は黒字で問題ないが、三毛門は管理を地元委託しており、

その委託料が収入の倍近くになっている。この際、駐車場を無料にしては。

財務課長 市内に3駅あり、地域の均衡ある発展を望んでいる。地元区長会とも委託料の引下げについて協議をした



宇島駅前駐車場

議員 最後に、企業誘致の取組みについてだが、先日福島県矢祭町に行った。交通条件の悪いところだが、1部上場企業の誘致が決定したということだった。これは首長の取組み姿勢だと感じた。これを踏まえて、企業誘致に取り組んでいたことを期待している。

尾澤議員の質問

1 医療体制について

議員 救急医療や災害時に、

医療機関のレセプトを開示し、患者の情報を共有できるシステムはできないのか。情報提供する事で、素早い治療ができると思うが…

市民健康課長 レセプト（診療報酬明細書）には患者の傷病・治療代等の記載がされており、個人情報保護の関係などで、今の段階ではレセプトを開示するシステムは困難である。

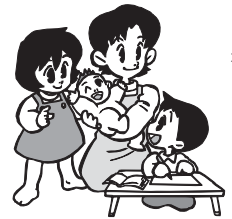
平成24年度に医療機関同士がオンラインで結ばれ、レセプトの電子化ができるという方向付けになっており、それまでに情報公開についても十分検討する必要がある。

議員 平成24年度に電子化という事で、医師会・病院が連携をとりながら、検討してもらいたい。

議員 就学前の乳幼児医療について、県外で受診した場合、自己負担2割を立替払いし、後日、市役所にて手続きをし、口座振込みで還付という複雑な流れであるが、医療機関と市との手続きで簡素化できないのか。

市民健康課長 福岡県単独の乳幼児医療制度であり、県内の医療機関しか使えない。県に他県でも使えるように制度改正の考えを聞いたが、全国に医療機関があり困難であるとの回答。今後も、県へ要望し

ていこうと考えている。



2 豊前市ふるさと寄附条例について

議員 ホームページや市報等で広報しているが、現在の問い合わせや申し込み状況について伺いたい。

市長 この条例は6月に制定し、寄附を募っているところである。寄附金については、「豊前市ふるさとづくり応援基金」に積み立てをし、地域振興に充てる。
・申し込み件数 5件
・寄附金額 15万円
(9/2現在)

議員 市内外や、地元出身者にPRしていく方法はないのか。
市長 市のホームページに「ふ

ふるさと納税

自分が生まれ育った「ふるさと」に貢献したい、自分と関わりが深い地域を応援したい!という気持ちを形にする仕組みとして、都道府県や市町村に対して寄附をして頂く制度。寄附金の5,000円を越える部分について、個人住民税のおおむね1割を限度として、居住地で納める所得税や個人住民税から控除されることになる。

●寄附金の額

一口、5,000円として何口でも納付できます。

●寄附金の使い方

- 6区分事業から指定できます。
- *産業振興に関する事業
- *自然環境保全に関する事業
- *医療、福祉の充実に関する事業
- *観光振興又は交流に関する事業
- *教育や文化振興に関する事業
- *その他市長が特に必要と認める事業



前産品 豊特

温泉入浴券

るさと豊前応援サイト」を立ち上げ、全国に向け寄附を募っている。また、チラシ5000枚を作成し新北九州空港、宇島駅、道の駅、市の公共施設等に配布、市内にある高校の同窓会においてもPRしている。市としてももっとPRしていきたいと考えている。

議員 寄附金の御礼についてどうなっているのか。
市長 2口以上寄附をされた方には、市内で生産された特産品セットと四泉めぐり温泉入浴券、総額3,500円相当を御礼状と共に贈る事になっている。

3 豊前市バスについて

議員 経費増大で厳しい運営状況だが、市の取組みについて伺いたい。

総務課長 ダイヤ改定や路線変更、バイオ燃料導入など色々な努力をしてきた。経費削減については、今後も更なる努力をしていきたい。

議員 利用者が少ない時間帯や路線に限り、デマンド交通（利用者の要望に応じて運行するしくみ）に切り替えるとかはできないのか。
総務課長 デマンド交通は不定期路線を走る形態で、市は定期路線なので法律上、無理である。

議員 中央商店街へのバス路線導入、空き店舗をバスターミナルにすると活性化につながると思うが…
総務課長 当面は、定期路線での運行をしていきたい。検討課題はたくさんあるが、色々なアイデアを頂戴しながら、より良い運営をやっていきたい。

今本議員の質問

1 小学校のプール設置について

議員 小学校のプール設置に

についてのアンケート結果はどうであったかお尋ねしたい。
教育長 市内小中学校全児童生徒の保護者を対象に行ったアンケートは、回収率が72・7%で、必要と答えた人は、33・6%、今のままでよいと答えた人が65・8%となっている。すべての小学校にプールがあることが望ましいが、学校の統廃合や耐震工事の実施など解決しなければならぬ課題が山積している。

議員 なぜ7割近い人が要らないと答えたのか、理由が分かればお聞きしたい。
教育課長 プールの監視など負担が増えることが考えられる。

2 小学校の水泳指導について

議員 学校にプールがない場合は、水泳指導をしなくてもよいとされている。豊前市の水泳指導は、どうしているのか。
教育長 小学校は、概ね10時間程度の授業を予定している。本年度は、最高10時間から最低6時間の授業数となっている。

議員 水泳指導の基礎・基本は何だと思うか、お尋ねしたい。
教育長 水の中で呼吸ができること、水と親しむことが基礎・基本ではないかと思う。

3 小学校の運動会の開催時期について

議員 日本はこれまでずっと秋に運動会をしてきた。最近では、小学校でも春に運動会をする学校が出てきた。なぜ、春に行うのかお尋ねしたい。

教育長 今年度、春に実施した学校が3校、秋に予定している学校が7校。学校行事や教科指導のバランスを踏まえ、保護者はもちろん、地域の方々も協議の上、実施している。



議員 小学校に入学したばかりの1年生にとつて、春の運動会は発達段階の上から問題があるのでないか。

教育長 保育園や幼稚園で学んできた1年生の子どもたちは、団体生活もできており、北九州や京築管内でも春に実施しているところが多い。秋でなければならぬというところもないだろうと思っている。

4 全国一斉学力テスト及び学力向上の方策について

議員 昨年に引き続き今年も

学力テストが実施された。福岡県は全国平均よりも低いようだ。結果を気にしている訳ではないが、学力ということについてどう考えているかお尋ねしたい。

教育長 テスト結果については都道府県別の正答率等が公表されたが、この学力調査は学校における教育活動の一面という認識をしている。

議員 基礎学力があつて、読解力が高まり、その裏側に思考力がある。読書はとても大事だと思つて、学力向上に向けてどのような取り組みをしているか。

教育長 読書については、朝の時間を利用したり、カリキュラムに組み込んで行つていく。また、学力調査の結果と比較してどの部分が高いのか、低いのかをそれぞれの学校で分析して毎日の学習の中で実践している。

5 合岩小学校統合10年間の総括について

議員 当時、4つの小学校を統合して合岩小学校を建てた。10年間の総括をすべきと思うが、これまでの歩みについてお尋ねしたい。

教育課長 平成9年に開校した時は139名の児童が在籍していたが、20年度は58名に

激減している。統合にあつては、100年以上の歴史と伝統を持つ学校が廃校となり、学校に対する地域住民の愛着は計り知れないものがあつたと思う。ただ就学児童に対しては、恵まれた学校施設と適正規模の学級で教育を提供することは教育行政の責務だと思つている。

榎本議員の質問

1 税源移譲に伴う収税対策について

議員 国の三位一体改革で、所得税が下がつて、住民税が増えた。収税対策にどれだけ力を入れるかで自治体間で財源の差が生じる。今後どのような対策をするのか。

税務課長 県と合同での直接徴収の実施や収税に従事する職員の研修の充実を図るとともに、納税意識の高揚に向けて小・中学生を対象に税の教室等の実施に向けて努力したい。

議員 住民税の特別徴収をしていない事業所については、市長自ら先頭に立つて特別徴収をお願いしてはどうか。

市長 財源確保のため、先頭に立つて行かなければならないと思つている。

2 市民が安心して暮らせるまちづくりについて

議員 豊前市では住所の表示が「大字(おおあき)」表示になっていて、大字が入り組んでいるところは、非常に分かりにくく、救急車がなかなか現場に行き着かない、郵便物が間違つて配達されるなどの問題が起きている。新しい住居表示制度を確立する必要があると思つて、市の考えをお聞きしたい。

総務課長 昨年もこの種の質問が出され、区長役員会とも意見交換をした。基本的には反対はないが、具体的な部分ではかなり厳しい意見もあつた。効率よい行政運営をするためにも、これは解決すべき問題だと考えている。

議員 具体的にモデル地区を作つて、取り組んでみてはいかがか。

総務課長 市内全域一斉が無理ならば、できるところからでも動いてみたいと思つて、区長会ともしっかり議論していきたい。

議員 生活困窮者で住むところがなく困っている人に、一時的に市営住宅に受け入れるという点について、どう思つか。

建設課長 一時的、応急的な措置として、耐用年数が切れた市営住宅の活用について検

討してみた。

3 求菩提山文化財と関連文化財の有効利用及び人材育成について

議員 求菩提山文化財は豊前市にとつて貴重な文化遺産だ。この観光資源を有効に利用することは市の発展、村おこしにつながると思う。市の考えをお尋ねしたい。

教育課長 市内の文化財保護にかかわる団体としては、「自然と文化を守る会」と「史跡方イドボランティアの会」があり、今後さらに協働を行うことで、その育成を図っていきたい。



お田植祭(求菩提山)

議員 大切な観光資源の活用に向けて、市の総合サービス型NPO法人を設立し、当分は市が中心になって、まちづくりを行い、そして軌道に乗ったら民間に任せるといった手法について、どう思つかお聞きしたい。また、市バスやタクシーを利用した観光の振興についてどう思つかお尋ねしたい。

市長 地元密着の組織をどうするか、市がどういった形で、どこまで関わるべきか、よく検討してみたい。タクシーガイドについては、意欲を持ってやれりいい提案ではないかと思う。

4 固定資産税率の引下げについて

議員 先の6月議会でも質問したが、豊前市は固定資産税率が100分の1・6だが、近隣の市町村は100分の1・4だ。公共下水道の整備地区と未整備地区とは、大きな環境サービスの違いがある。この問題を解決するために、未整備地区の税率を1・4にしてはいいかがか。

市長 今の指摘を参考にしながら、検討し、近いうちに方向性を出したいと思う。

尾家議員の質問

1 豊前市の財政について

議員 団塊世代の人々が退職を迎え、最大22億円あった、豊前市の人件費も18億円を切るころまで計算できるようになり、市財政に好ましい影響を与えている。

しかしながら、「油断は禁物」この好転の兆し、余裕は一度

きりである。引き続き、経費削減、公債費比率の引き下げを第一に、財政運営に努めるべきと考えるが。

副市長 国の三位一体改革以降、地方交付税も平均毎年2億4千万円減額されており、非常に厳しい財政運営を余儀なくされている。行革大綱、集中改革プランを策定し、更なる経費削減に努めているところである。

団塊世代の退職金問題は目途がついたが、今後、社会福祉費や水道会計への繰出金の増高等もあり、依然厳しい状況にある。議員ご指摘のことを念頭に入れながら、持続可能な財政運営に努めたい。

議員 固定資産税の課税見直しを行うと、大きな収入減となる。市民が納得できるように、慎重に議論していただきたい。

2 限界集落と高齢者対策について

議員 高齢者だけの世帯、限界集落が増えている。しかしながら高齢者に負担を強いる事柄は多い。そこでまず、下水道加入金について伺いたい。

農家の屋敷は農作業、菜園栽培等のため広い。したがって面積によって賦課される加入金も大きな金額となる。年金収入の高齢者にとって大きな負担となるが、免除措置は

とれないのか。

上下水道課長 1㎡たり、一度限り、五百円負担していただいているが、田、畑は宅地化まで猶予される。分割納付や一括納付報償金制度もあり、地域の住環境整備にご理解願いたい。

議員 国保税の算出に固定資産税にかかる資産割があるが、高齢世帯の免除措置は。

財務課長 県内では豊前市を含め18団体が課税をしている。免除特例を設定している団体はなく、独自の特例を設けると財政調整交付金の算定に影響する。また資産割を賦課しない場合は、それ相当額を他の方法で上乗せすることになる。

今後、この問題は運営協議会等関係機関とも協議したい。

議員 岩屋地区の簡易郵便局が経営の危機に直面している。行政の手を差し伸べる必要があると思うが。

財務課長 旧岩屋公民館の一部を利用してはいるが、高齢者が利用する地域で唯一の金融機関であり、行政としても支援の必要性はあると考えている。



岩屋簡易郵便局

3 一般競争入札の目的について

議員 この制度の導入目的は、談合の防止、不良不適格業者の追放、地元優良業者の育成と考えている。

4月以降の指名競争入札は19件で平均落札率は96%だが、3件の条件付一般競争入札はいずれも最低制限価格でくじ引きによる落札である。このままでは地元業者の育成どころか、倒産が相次ぐ恐れがある。執行部の見解を求めます。

副市長 このような状況が続けば、過当競争による倒産や不良工事の発生により公共工事の品質の低下も懸念される。今後の入札動向を注視しながら指名委員会等で協議、検討したい。

議員 最低制限価格の事前公表の廃止、250万円以上の工事を条件付一般競争入札とすること、工事金額による入札参加資格ランクを変更することを提案する。

市長 十分、検討したい。

岡本議員の質問

1 過疎化対策について

議員 高齢者にとって、地域になくはならない岩屋簡易

郵便局の存続について、市としての考えを伺いたい。

市長 存続について今後、どのような支援ができるか、他の自治体の状況を踏まえながら検討していきたい。

財務課長 郵政民営化の影響で過疎の郵便局、全国で400を超える簡易郵便局が閉鎖に追い込まれている状況である。今は民間の一企業ではあるが、今後、岩屋地区の皆さんと相談しながら検討していきたい。

2 豊前市バスと高齢者の関係について

議員 高齢者の運転が増えて中、免許証を返納したら、一年間バスの利用無料サービスとはできないのか。

総務課長 高齢者の運転が危ないのではないかと、福祉政策の要望について今後、各種会議に諮りながら検討していきたい。

議員 バイオ燃料を使ったバスを利用しているが、軽油とバイオ燃料の経費、燃費等の違いや車両一台の価格の違いについて伺いたい。

総務課長 燃料費について月額、軽油は、10万7千500円。バイオは、6万6千500円(1割95円)という低価格である。燃費については、軽油より2割ほど悪い。又、現在メーカー

にはバイオ専用車というのはない。

議員 バスの運賃について、このままの価格でいくのか。

総務課長 西鉄の時より25%安い運賃で設定している。料金の問題についてはいろんな意見があるが今のところは現在の運賃で行きたい。



3 鳥獣対策について

議員 山間地では、鳥獣による作物の被害、山林の被害、住民の利用する車や單車へ当たる事故等の被害があるが、市としての対策を伺いたい。

農林水産課長 有害鳥獣対策の一環として、防護柵やネットを設置し進入防止をしている。今後も、捕獲や追い払い活動など鳥獣を寄せ付けない環境づくりをしていきたい。事故防止については、動物注意等の警戒標識の設置を行っていきたい。

4 市営住宅のあり方について

議員 市では京築ヒノキがブランド化されているが、市営住宅や戸建住宅にこの木を普及しようといったPRは考えていないのか。

建設課長 民間の戸建住宅や将来、市営の戸建住宅の建設があった場合は、京築ヒノキや地場産木材の普及についてPRしていきたい。

農林水産課長 地元建築士・工務店への販売促進や森林・林業体験学習の実施などをして普及啓発活動を行っていききたい。また、公民館・集会所等の増改築時にも利用したい。

議員 京築ヒノキの利用促進をして頂き、山林の所有者の方に還元してもらいたい。森林組合や関係機関等と協力し、いいブランドを作りあげてほしい。

鎌田議員の質問

1 「学校のアレルギー疾患に対する取組みガイドライン」について

議員 豊前市の小・中学校のアレルギー疾患の有病率の実態はどうか。

教育長 ぜんそくについては小学生9・6%、中学生6・5%、

アトピー性皮膚炎は、小学生4・1%、中学生4・6%、食物アレルギーは、小学生1・4%、中学生2・8%、アナフィラキシーは、小学生0・1%、中学生0・2%となっている。

議員 ぜんそくやアトピー性皮膚炎に対しては、どのような対応をしているか。

教育長 入学の前年の秋に、健康診断を実施し、保護者からアレルギーがあるかないか、どういったアレルギーがあるか、聞いている。小学校に入学後も毎年健康診断を実施している。また同じアレルギーでも一人ひとり違うので、家庭と担任、養護教諭と連絡を取り合うこととしている。

議員 アナフィラキシーでショック症状が起きた場合、どのように指導しているか。

教育長 具体的にどのように対応しているか、確認の上、適切な対応をしていきたい。なお、すべての小・中学校にAEDを設置しており、救急の措置はできると思う。



2 子育て支援について

議員 ファミリーサポートセ

ンターでは、シルバー人材センターに子どもを預かってもらうサービスがあるが、利用状況についてお聞きしたい。

福祉課長 ファミリーサポート事業は、子育て家庭の仕事と育児の両立を支援することを目的として19年度から実施した事業で、1時間あたりの単価が880円（うち440円を市が補助）だが、19年度利用実績は延べ11人で92時間となっている。

議員 保育所の待機児童の解消を図るため、保育ママ制度を導入してはいいか。

福祉課長 本市では待機児童はなく、現在のところこの制度の導入は考えていない。

3 市バスについて

議員 各路線の平均利用者数をお尋ねしたい。

総務課長 19年度の1か月の平均乗客数は、岩屋線4407人、轟線1755人、畑線1439人、櫛狩屋線736人で、19年度トータル107500人となっている。

議員 コミュニティバスや乗り合いタクシーの導入など高齢者や困っている方々を救うという観点から市バスの見直しをしてはいいか。

総務課長 現在、市が国の許

可を得て走らせているバスは、決まった路線を決まった時間に走るといった性格のバスで、デマンドバスやコミュニティバスとは法の根拠が異なる。確かに、国は広域的な事業に対して公共交通の使命を果たす場合には、補助金を交付する制度はあるが、現時点ではこの条件をクリアするのは難しい。

4 緊急通報システムについて

議員 緊急通報システムの申し込み状況はどうか。

福祉課長 このシステムは、1市3町で共同運営されており、設置台数は全体で660台、うち豊前市は165台となっている。19年度の緊急通報の件数は、豊前市で14件、うち誤報が11件、救急が3件となっている。

議員 普通電話で容易に連絡をとれる人でも、倒れたことのある人や発作を起こしたことのある人などはこの基準の中に入れられないのか。

福祉課長 この判断基準は、独居の方、重度障害者の方を対象にしているが、過去に倒れたことがある、また倒れる可能性があるなどの場合にはそういう点も考慮していききたいと思う。緊急通報については、非常に誤報も多く、なかなか設置台数を増やしていないという状態だ。

9月議会において議決された、意見書及び請願の要旨です。

「地方財政の充実・強化を求める意見書」

地方分権の推進、少子・高齢化の進行、産業・雇用対策、地球規模や地域レベルの環境保全需要、災害・事故に対する安全対策など、地域の行政需要が増大しており、地方自治体が果たす役割は益々重要になっています。

住民に身近なところで政策や税金の使途を決定し、地方分権の理念に沿った自治体運営を行うことができるよう、地方財政の充実・強化をめざし、政府に対し次のとおり求めます。

記

- 医療、福祉、環境、ライフラインなど地域の公共サービス水準の確保と地方分権推進に向けて、国・地方の税収配分5：5を実現する税源移譲、地方交付税機能の強化により地方財源の充実強化を図ること。
- 自治体間の財政力格差は、地方間の財政調整によることなく、地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化により是正を図ること。
- 地方自治体の意見を十分に踏まえた対応を行うこと。

※ 送付先

(内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、経済産業大臣、財務大臣、経済財政政策担当大臣)

「教育予算の確保と充実を求める意見書」の提出に関する請願

子どもたちに豊かな教育を保障することは、社会の基盤づくりにとって極めて重要なことです。自治体の財政力や保護者の所得の違いによって子どもたちが受ける教育水準に格差があってはなりません。

教育予算を国全体として、しっかり確保・充実させる必要があることから次の事項の実現について要請します。

記

- 「子どもと向き合う時間の確保」を図り、きめの細かい教育の実現のために、義務制第8次・高校第7次教職員定数改善計画を実施すること。
- 教育の自治体間格差を生じさせないために、義務教育費国庫負担制度について国負担率の2分の1に復元することを含め、制度を堅持すること。
- 学校施設整備費、就学援助・奨学金、学校・通学路の安全対策など、教育予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。

※ 送付先

(文部科学大臣、財務大臣、総務大臣)

議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。

会議録閲覧のお知らせ

議会だよりの内容は、議会の様子を要約したものです。会議の詳細を知りたい場合は、総務課・議会事務局にある会議録をご覧ください。また、豊前市のホームページにも「会議録」を掲載していますので、ご覧ください。

編集後記

今回の9月議会では、8名の議員が、今日、市民や行政が抱えている課題、「福祉問題、農業や教育、行財政改革」等、これらに関する行政の考えや施策に対して核心に迫る論戦を展開した。

行政と議会とが協議を重ねる中で、即解決を要する懸案については、両者が協力して市民のために全力を尽くすことを決議した。

1年生議員の私にとっては、諺「亀の甲より年の功」を身を持って体験した議会であった。先輩諸氏に学び、1日でも早く市民から信頼と尊敬をされる議会人を目指したい。

今本 文徳

編集委員

委員長	山本	章一郎
副委員長	鎌田	晃二
委員	今本	文徳
委員	榎本	義憲
委員	福井	昌文

市議会だよりは資源保護のため再生紙を使用しています。